

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
地域水産物供給基盤整備事業	103	磯津	四日市市		【全体事業概要】 外郭施設 南防波堤 L= 60m 輸送施設 道路工 L=550m	H13	500	33.0%	外郭施設 南防波堤 L= 15m	【財政状況の変更】 国、県を含め厳しい財政状況によって、事業の進捗が伸び悩む傾向にあります。	費用便益比 B/C= 1.30 コスト削減の可能性 回航費の縮減 道路舗装の路盤材に再生材を使用する。 代替案の検討 代替案である沖防波堤は、航路の支障となり、費用的にも高額となるため、現計画が妥当であると判断しています。	平成14年度から工事に着手しましたが、進捗が遅れています。 現在は事業費ベースで33%が完了しています。 平成21年度に全体計画を完了する見込みです。	事業継続を了承する。 今回、審査を行ったところ残工期の説明に疑問を持った。特に、直接受益者である漁業者が高齢化する中で実施している事業は、初期の事業目的を早期に発現させなければ施設の利用形態などが変化し、当初計画していた効果を期待できなくなる可能性がある。したがって、完成工期的確な設定を行うよう求めるものである。 また、漁港を整備する事業は、風波の特性を把握するためにも計画時点で地元関係者から意見聴取を行うなどして合理的な事業の計画に努められたい。
						H21	-	-					

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
							目標年	用地費					
地域水産物供給基盤整備事業	104	甫母	熊野市		<p>【全体事業概要】</p> <p>外郭施設 北防波堤 L=40.0m 南防波堤(網代) L=85.0m 南防波堤(甫母) L=24.0m 北護岸 L=31.3m</p> <p>係留施設 -5.0m岸壁 L=90.0m -3.0m岸壁 L=60.0m</p> <p>輸送施設 道路 L=315.0m</p> <p>漁港施設用地 用地 A=3,243m²</p>	H6	1,176	77.4%	<p>【全体計画の変更】 漁協合併を契機に避難隻数の見直しを行ったことにより総事業費1,291百万円から1,176百万円に全体計画を変更。</p>	<p>費用便益比 B/C= 1.16</p> <p>コスト削減の可能性 用地の埋土は、隣接する二木島港内の浚渫工事により発生した土砂を流用。 道路舗装における路盤材に再生材を使用する。</p> <p>代替案の検討 旧港(甫母地区)の再整備も考えられますが、民家が密集しており、またその背後は急峻な山が迫っているため、網代地区での整備が妥当であると判断しています。</p>	<p>平成6年度に事業着手し、現時点での進捗率は77%となっています。 H22年度には全体計画を完了する見込みです。</p>	<p>事業継続を了承する。 今回、審査を行ったところ残工期の説明に疑問を持った。特に、直接受益者である漁業者が高齢化する中で実施している事業は、初期の事業目的を早期に発現させなければ施設の利用形態などが変化し、当初計画していた効果を期待できなくなる可能性がある。したがって、完成工期的確な設定を行うよう求めるものである。 また、漁港を整備する事業は、風波の特性を把握するためにも計画時点で地元関係者から意見聴取を行うなどして合理的な事業の計画に努められたい。</p>	
						H22	-	-					

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
地域水産物供給基盤整備事業	108	迫間浦	南勢町		<p>【全体事業概要】</p> <p>外郭施設 西防波堤 L=70m 北防波堤 L=65m 護岸 L=120m</p> <p>係留施設 -2.5m物揚場 L=40m -2.0m物揚場 L=30m -4.0m岸壁 L=80m 船揚場 L=50m</p> <p>水域施設 -4.0m泊地 A=301㎡ -2.5m泊地 A=190㎡</p> <p>輸送施設 道路 L=69m</p> <p>用地 用地 A=1,589㎡</p>	H6	1,521	96.0%	<p>外郭施設 西防波堤 L=70m 北防波堤 L=45m 護岸 L=120m</p> <p>係留施設 -2.5m物揚場 L=40m -2.0m物揚場 L=30m -4.0m岸壁 L=80m 船揚場 L=50m</p> <p>水域施設 -4.0m泊地 A=301㎡ -2.5m泊地 A=190㎡</p> <p>輸送施設 道路 L=69m</p> <p>用地 用地 A=1,589㎡</p>	<p>【全体計画の変更】 北防波堤の法線・延長の見直しによる減 新設用地整備計画の見直しによる減</p> <p>このことにより総事業費2,141百万円から1,521百万円に全体計画を変更。</p>	<p>費用便益比 B/C= 1.20</p> <p>コスト削減の可能性 床掘残土を用地の埋土として使用。</p> <p>代替案の検討 港内の静穏度解析及び用地規模を見直した結果、現計画内容が妥当だと判断いたしました。</p>	<p>平成6年度に事業着手し、現時点での進捗率は96%となっています。 H20年度には全体計画を完了する見込みです。</p>	<p>事業継続を了承する。 今回、審査を行ったところ残工期の説明に疑問を持った。特に、直接受益者である漁業者が高齢化する中で実施している事業は、初期の事業目的を早期に発現させなければ施設の利用形態などが変化し、当初計画していた効果を期待できなくなる可能性がある。したがって、完成工期的確な設定を行うよう求めるものである。 また、漁港を整備する事業は、風波の特性を把握するためにも計画時点で地元関係者から意見聴取を行うなどして合理的な事業の計画に努められたい。</p>
						H22	-	-					

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
地域水産物供給基盤整備事業	109	海野浦	紀伊長島町		<p>【全体事業概要】</p> <p>外郭施設 西防波堤 L=25m 沖防波堤 L=56m 係留施設 船揚場 L=39.4m 照明施設 5基 水域施設 -2.5m泊地(浚渫) 3,482㎡ 輸送施設 道路工 L=200m</p>	H6	1,641	86.0%	<p>外郭施設 西防波堤 L=25m 沖防波堤 L=56m 係留施設 船揚場 L=39.4m 照明施設 5基 水域施設 -2.5m泊地(浚渫) 3,482㎡ 輸送施設 道路工 1式</p>	<p>【全体計画の変更】 静穏度の見直し等により沖防波堤延長を80mから56mに減工した。このことにより総事業費1,800万円から1,641万円に全体計画を変更。</p>	<p>費用便益比 B/C= 1.04</p> <p>コスト削減 道路舗装の路盤材に再生材を使用する。 道路盛土に床掘残土を流用する。</p> <p>代替案の検討 沖防波堤は漁船の航路及び経済的にも考慮して、現計画が妥当であると考えています。</p>	<p>平成6年度に事業着手し、現時点での進捗率は86%となっています。 H19年度には全体計画を完了する見込みです。</p>	<p>事業継続を了承する。 今回、審査を行ったところ残工期の説明に疑問を持った。特に、直接受益者である漁業者が高齢化する中で実施している事業は、初期の事業目的を早期に発現させなければ施設の利用形態などが変化し、当初計画していた効果を期待できなくなる可能性がある。したがって、完成工期の的確な設定を行うよう求めるものである。 また、漁港を整備する事業は、風波の特性を把握するためにも計画時点で地元関係者から意見聴取を行うなどして合理的な事業の計画に努められたい。</p>
							1,641	86.0%					
						H19	-	-					
					<p>【事業目的】 荒天時においても漁船が安全に係留できるよう港内の静穏度を高めます。 水産物の運搬による荷傷みを防止し、鮮度を保持します。 漁船が安全に陸揚げ、準備、休憩できる港内泊地を確保します。</p>								

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	番	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
広域漁港整備事業	110	豊北	伊勢市		<p>【全体事業概要】</p> <p>外郭施設 東防波堤 L=50m 西防波堤 L=270m 護岸 L=174m 突堤 L=60m</p> <p>水域施設 -1.0m泊地 A=9,780㎡ -2.0m泊地 A=4,840㎡ -1.5m航路 A=9,800㎡ -3.0m航路 A=30,000㎡</p> <p>係留施設 -1.0m物揚場 L=495m -2.0m物揚場 L=80m 船揚場 L=20m 浮棧橋 2基</p> <p>輸送施設 道路 L=225m 漁港施設用地 A=1,660㎡</p> <p>漁場施設 魚礁 V=1,200空m3</p>	H6	2,665	87.6%	<p>外郭施設 東防波堤 L=50m 西防波堤 L=270m 護岸 L=84m 突堤 L=60m</p> <p>水域施設 -1.0m泊地 A=9,780㎡ -2.0m泊地 A=4,840㎡ -3.0m航路 A=15,300㎡</p> <p>係留施設 -1.0m物揚場 L=495m -2.0m物揚場 L=80m</p> <p>輸送施設 道路 L=225m 漁港施設用地 A=1,660㎡</p>	<p>【全体計画の変更】 航路・泊地の深浅測量結果による見直しの減漁船減少を考慮し浮棧橋の整備箇所の減 フィシャーリーナ護岸をPFIも含め検討することによる減魚礁整備の追加</p> <p>このことにより総事業費3,157百万円から2,595百万円に全体計画を変更。</p>	<p>費用便益費 B/C=1.04</p> <p>コスト削減の可能性 旧防波堤の石積を防波堤の基礎材として再利用。 航路浚渫の土砂を、水産資源の生育場(アサリ)として覆砂に利用。</p> <p>代替案の検討 伊勢市の中心的な漁港であり、本漁港整備が妥当であると判断しています。</p>	<p>平成6年度に事業着手し、現時点での進捗率は88%となっています。 H22年度には全体計画を完了する見込みです。</p>	<p>事業継続を了承する。 今回、審査を行ったところ残工期の説明に疑問を持った。特に、直接受益者である漁業者が高齢化する中で実施している事業は、初期の事業目的を早期に発現させなければ施設の利用形態などが変化し、当初計画していた効果を期待できなくなる可能性がある。したがって、完成工期の的確な設定を行うよう求めるものである。 また、漁港を整備する事業は、風波の特性を把握するためにも計画時点で地元関係者から意見聴取を行うなどして合理的な事業の計画に努められたい。</p>
						H22	-	-					